

2019年度

事業報告書

自；平成31年（2019年）3月1日

至；令和2年（2020年）2月29日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

## 1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を2回（定時1回、臨時1回）、理事会を6回、それぞれ開催して案件の審議、決定を行いました。また毎月定例として業務運営委員会を開催（12月を除く）して当面の諸案件について協議、連盟運営の円滑化を図りました。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、審判規則、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、医科学、技術・振興、プロアマ健全化）を必要に応じて随時開催し、諸問題の検討を行い、高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年5回、小委員会を週1回計44回）、不祥事件に対する指導を行うとともに、不祥事件発生防止の重点目標を5項目（指導者の部内暴力の根絶、部員のいじめ行為の絶滅、インターネットや携帯電話のメールによる迷惑行為の防止、部活動引退後の3年生部員への指導の徹底、アウトオブシーズン中の指導の徹底）を挙げて、諸会議や通達で指導徹底を行いました。さらに「高校野球200年構想」推進委員会を随時開催し、「普及・振興」「けが予防・育成」「財政・財源」を3つの柱として、高校野球の未来について協議しました。
- (3) 年度内に各都道府県高等学校野球連盟会長会議を1回、同理事長会議を3回それぞれ開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。
- (4) 本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。
- (5) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行いました。
- (6) 高等学校野球の普及、振興のため、部員不足による連合チームの大会参加
- (7) 投手の障害予防に関する有識者会議を年4回開催し、3年間の試行期間として1週間500球以内の制限をはじめ、競技団体が取り組むこと、チームが自主的に取り組むこと、野球界全体として取り組むことといった3点の内容を提言に取りまとめ、今後進めていくこととした。

## 2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

### (1) 第91回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で平成31年3月23日（土）から4月3日（水）までの12日間（休養日1日）、阪神甲子園球場で開催、平成31年1月25日（金）に開かれた選考委員会で選考された32校が参加、無事盛況のうちに終了し、東邦高等学校（愛知）が30年ぶり5回目の優勝を果たしました。準優勝は習志野市立習志野高等学校（千葉）。

### (2) 第101回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で令和元年8月6日（火）から22日（木）までの17日間（雨天

順延1日、休養日2)、阪神甲子園球場で49校が出場して開催した。履正社高等学校(大阪)が初優勝を果たしました。準優勝は星稜高等学校(石川)。

(3) 第64回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の後援を得て、令和元年8月24日(土)から31日(土)までの8日間(雨天順延2日、休養日1日)、兵庫県の明石トーカロ球場とウイック球場(姫路球場)の2球場で開催しました。参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。中京学院大学附属中京高等学校(東海・岐阜)が3年連続10回目の優勝を果たしました。準優勝は崇徳高等学校(広島)。

(4) 第74回国民体育大会・高等学校野球競技

茨城県で硬式の部、軟式の部ともに令和元年9月29日(日)から10月2日(水)までの4日間でそれぞれ開催しました。

硬式の部は、水戸市のノーブルスタジアム水戸で12校が参加、関東第一高等学校(東京)が初優勝を果たしました。準優勝は海星高等学校(長崎)。

軟式の部は、土浦市のJ:COMスタジアム土浦で10校が参加、中京学院大学附属中京高等学校(岐阜)が3年連続9回目の優勝を果たしました。準優勝は仙台市立仙台商業高等学校(宮城)。

(5) 第50回記念明治神宮野球大会・高等学校の部

令和元年11月15日(金)から20日(水)までの6日間(休養日1日)、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、秋季地区大会の優勝校10校が参加し、中京大学附属中京高等学校(東海・愛知)が初優勝を達成しました。

(6) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道(札幌)、東北(山形)、関東(埼玉)、北信越(富山)、東海(静岡)、近畿(奈良)、中国(広島)、四国(愛媛)、九州(鹿児島)の全国9地区で平成31年4月下旬から6月上旬にかけて開催しました。

(7) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道(札幌)、東北(岩手)、関東(群馬)、東京、北信越(石川)、東海(岐阜)、近畿(奈良)、中国(鳥取)、四国(徳島)、九州(佐賀)の全国10地区で平成30年9月下旬から11月上旬にかけて開催しました。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

(1) 加盟校数、部員数調査

令和元年5月末現在の硬式、軟式それぞれの加盟校数、部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が143,867人(9,317人減)で5年連続の減少、軟式が8,214人(541人減)で6年連続の減少。また、加盟校数は硬式が昨年から14校減の3,957校、軟式が12校減の416校。

#### 4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進

- (1) 年度内に開催の第91回選抜大会と第101回選手権大会に参加した投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

	(91回選抜)	(101回選手権)
検査受診者数	111人	167人

検査の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

#### 5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

##### (1) 新任理事長研修会

令和元年度新たに就任した都道府県連盟理事長・専務理事9人(岩手、秋田、宮城、山梨、千葉、石川、京都、奈良、広島)を対象に、令和元年年5月20日(月)、21日(火)の2日間、中沢佐伯記念野球会館で研修会を開催しました。

##### (2) 審判講習会

第59回全国審判講習会を令和元年4月28日(日)、29日(月)の両日開催。実技は阪神甲子園球場、座学は兵庫県立総合体育館で実施。各都道府県から参加した受講者48人(各都府県1人、北海道は2人)を対象にルール研修や実技指導を行いました。

北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

日本高校野球連盟審判委員の技術向上及び人財育成のための指導力向上を目的に審判委員スキルアップ研修会を令和2年2月15日(土)、実技ならびに座学研修を関西大学野球部室内練習場で行った。対象者は第92回選抜高等学校野球大会に委嘱された審判委員。

また、プロとアマとの審判の交流、情報交換を目的に令和2年1月20日(月)に第25回プロアマ合同審判研修会を中沢佐伯記念野球会館で開催。プロから24人、アマ(社会人、大学、高校)から39人が参加した。

その他に、中学・少年野球育成事業の一環として、昨年まで開催していた少年野球合同審判研修会を休止し、少年野球3団体(ボーイズリーグ、リトルシニア、ヤングリーグ)が個別で開催する講習会に講師を派遣した。講習会日程は次の通り。

2月1日(土) ヤングリーグ 8日(土) リトルシニア 9日(日) ボーイズリーグ

##### (3) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員在籍10年未満の指導者を対象に2回開催しました〔第1回;令和元年11月22日(金)から24日(日)、第2回;令和元年12月6日(金)から8日(日)のそれぞれ3日間〕。各回27人が参加して、近府県加盟校の協力を得て、グラウンドでの実技研修ならびに中沢佐伯記念野球会館での座学研修を行いました。

(4) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力を得て、1カ所で開催しました。  
開催結果は次のとおり。

- ① 令和元年11月30日(土) 福岡県 タマホームスタジアム筑後  
受講者；加盟校数115校、部員810人

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

年度内に次の国際大会に参加し、野球を通じて諸外国と親善、友好を深めるとともに、相互の競技力向上に努めました。

(1) 第29回WBSC U18 ベースボールワールドカップ

令和元年8月30日(金)から9月8日(月)までの9日間(休養日1日)、韓国・機帳(キジャン)で開催された第29回WBSC U18 ベースボールワールドカップに高校日本代表チームが出場しました。参加は12カ国・地域。

◇最終順位

- 第1位 チャイニーズタイペイ(5大会ぶり3回目)、第2位 アメリカ  
第3位 韓国、第4位 オーストラリア、第5位 日本、第6位 カナダ

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 野球各団体との提携

全日本野球協会、日本野球連盟、日本学生野球協会、全日本大学野球連盟と定期的に打ち合わせを開催。

(2) 学生野球資格回復に関する協議会

日本学生野球協会と日本野球機構ならびに日本プロ野球選手会が元プロ野球選手の学生野球資格回復について検討する学生野球資格回復に関する協議会に参画しました。

8. 就学前児童、小学生、中学生に対する野球の普及、振興

小学校、中学校野球選手、部員等のスポーツ障害予防及び健康増進

小学校、中学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 高校野球200年構想関連事業

普及、振興、けが予防、育成、基盤作りをテーマに、高校生だけでなく就学前児童、小学生、中学生まで対象を拡げて、各種事業を実施した。

2年目となる令和元年度は都道府県高等学校野球連盟が主体となって184を超える事業が46都道府県連盟で実施された。

また、昨年夏に中止となった甲子園キッズフェスタを令和元年11月3日(月・祝)に阪神甲子園球場で実施した。